

市町村名	恩納村
------	-----

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 - 仲泊内海周辺活性化施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 - 1 - (1)

事業内容
 恩納村の入り口であり、仲泊貝塚などの国指定文化財や村博物館、農水産物販売センターに隣接する仲泊内海周辺に、賑わい及び交流拠点としてプロムナードを整備し、魅力あふれる観光地として更なる誘客活動を実施する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	152,067	-		
		(b)予算現額	200,387	-		
		(c)増減額(b-a)	48,320	0		
		(d)繰越額	-	197,237		
		A.計(b+d)	200,387	197,237		
		B.執行済額	3,150	185,602		
		うち交付金充当額	2,520	138,447		
		次年度繰越額	197,237	0		
		執行率(%) (B/A)	1.6%	94.1%		
		予算の状況の説明	・事業実施箇所において、有識者等から新たな施設整備の要望があり、その対応に不測の日数を要したため工事費等繰越した。 ・AとBの差額11,635千円は、継ぎ足し単独事業費の6,078千円と不用額の5,557千円である。不用額については、実施設計費、工事費の入札残による契約額の減である。			

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		仲泊内海周辺にプロムナード等(交流拠点)調査・実施設計、整備工事を実施	目標	調査・実施設計、整備工事	()	()
	実績	調査・実施設計、整備工事完了				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	仲泊内海周辺活性化施設調査・設計業務及び整備工事を実施し、完了した。(木歩道、木棧道、デッキ、ベンチ、照明灯(足元灯))					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			仲泊内海周辺にプロムナード等(交流拠点)調査・実施設計、整備工事を実施	目標	()	調査・実施設計、整備工事	()
		実績		調査・実施設計、整備工事完了			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	農水産物販売センターへ隣接する内海へプロムナード等が一部供用開始されたことにより、村博物館へつづく散策路が確保され、内海を囲む施設の一体化が図られた。引き続き残りの木棧道及び隣接する駐車場改修工事を実施していく。						

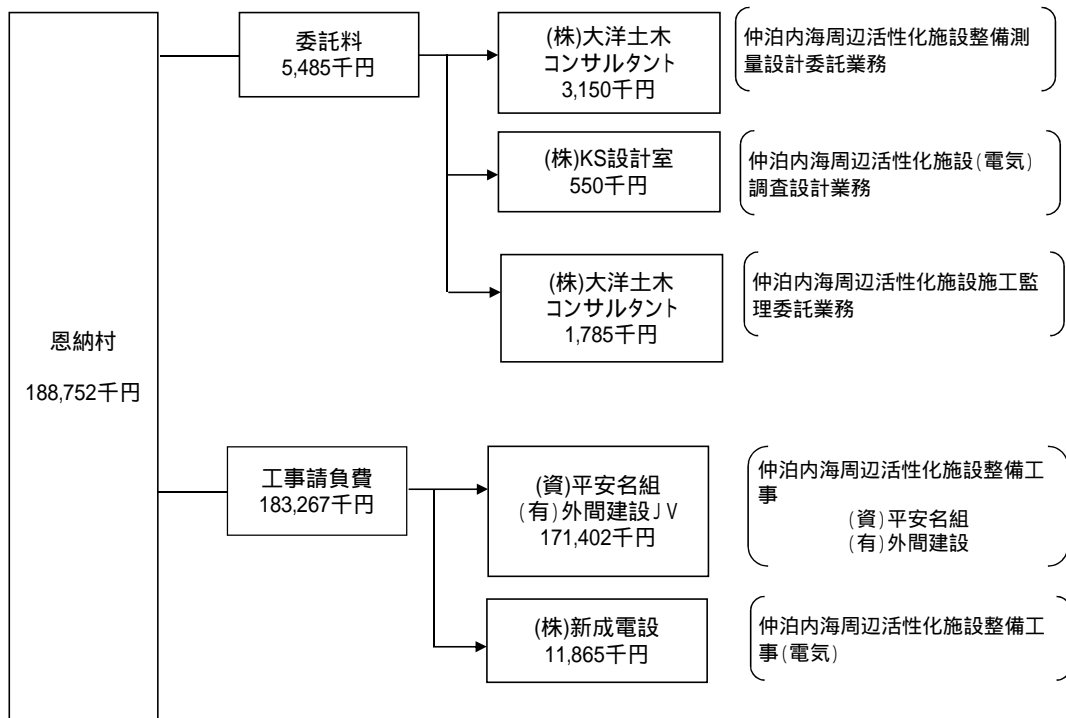
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・プロムナード国道側進入路からバイクの乗り入れがあり、施設の安全対策が必要である。 ・内海へ堆積している泥等が、観光地としての景観に影響を与えていることから改善が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイクの進入防止柵等の設置を検討する。 ・仲泊内海周辺活性化施設整備事業の中で、浚渫工事等を検討する。

今後の取り組み方針

仲泊内海地内で沖縄振興特別推進交付金事業による「恩納村文化情報センター」が平成26年度中に完成することから、仲泊内海周辺の安全対策等を含めた周辺整備について、庁内関係課及び農水産物販売センター指定管理者の(株)ONNAによる仲泊内海周辺整備委員会(仮称)等を設立し、仲泊内海周辺活性化整備を再検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
188,752	188,752	140,967	47,785	0



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託及び工事請負業者は、指名競争入札方式により選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、書類及び現場確認により適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		恩納村					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-		観光地防災対策強化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
	担当部課名	総務課		事業実施(予定)年度	平成24年度~25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立 -1-(1)
事業内容	平成23年度において地域防災計画見直しを行っており、その中で高齢者、障害者、外国人、観光客等様々な方に対応するマニュアルの作成、避難経路点検及びマップの作成などを村が実施すべき事項として掲げている。それらを推進していくため、災害時初動行動マニュアル作成、災害時要援護者避難支援プラン作成、防災マップ見直し作業を実施する。併せて海拔表示板設置業務を行い、全ての滞在者が避難の際の目安を確認できる環境整備を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	17,136	-			
		(b)予算現額	16,527	-			
		(c)増減額(b-a)	609	0			
		(d)繰越額	-	16,527			
		A.計(b+d)	16,527	16,527			
	B.執行済額		0	16,527			
	うち交付金充当額		0	13,020			
	次年度繰越額		16,527	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		委託内容や入札残により当初予算から委託費を609千円減額した。 ・地域住民や観光事業者から海拔表示の設置場所等について意見・要望があり、設置場所の選定及び防災マップとの整合性を図るため16,527千円を次年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・災害時初動行動マニュアル(行政編、事業所・自治会等防災組織編)作成 ・要援護者避難支援プラン作成 ・恩納村防災マップ見直し、作成 ・海拔調査及び海拔表示板設置	目標	マニュアル等作成 海拔表示板設置	()	()	()	
		実績	マニュアル等作成 海拔表示板設置完了				
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	高齢者、障害者、外国人、観光客等様々な方に対応する災害時初動マニュアル(行政編、自治会編)、要援護者避難支援計画及び多言語に対応した防災マップを作成した。 全ての滞在者が避難の際の目安を確認できるよう村内全域に海拔表示板(546箇所)を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・初動行動マニュアル作成 ・要援護者避難支援プラン作成 ・防災マップ作成 ・海拔表示板設置箇所数	目標	()	マニュアル等作成 海拔表示板設置 546箇所	()	()	()
		実績		マニュアル等作成 海拔表示板設置 546箇所			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	多言語にも対応した防災マップを村内各世帯及び村内宿泊施設に配布した。 全ての滞在者が避難の際の目安を確認できるよう村内全域に海拔表示板(546箇所)を設置した。						

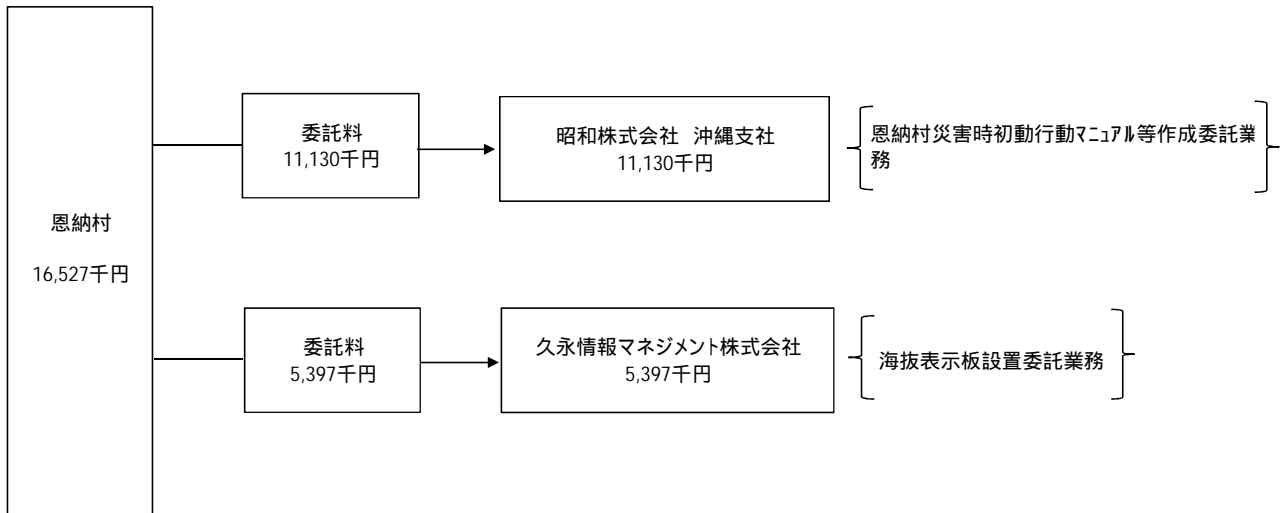
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 観光客にも対応した避難誘導看板の設置が必要 行政、自治会、事業所等との避難路及び避難場所等の情報共有 海拔表示板設置に関し、設置場所及び許認可に関する関係機関との協議 	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導看板の設置を検討する。 各自治会に避難路及び避難場所等の看板を設置し、村ホームページに掲載するとともに、防災訓練時に活用する。 関係機関と連携し、自主防災組織の立ち上げについて支援する。

今後の取り組み方針

- 作成した各種マニュアルや防災マップ等を活用した防災訓練を実施する。
- 村内全自治会において自主防災組織を立ち上げる。
- 関係機関と連携し、災害時における観光客を含めた避難及び避難先における役割の明確化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
16,527	16,527	13,020	3,507	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名入札により選定しており妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、設計価格、予定価格を定めており、超越していないので妥当と考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのかについて額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	